

ことしもありがとう あんせいかんの収穫祭

不順なお天気でしたが、1年が過ぎて、また、収穫祭を迎えることが出来ました。皆様のお力を戴きありがとうございます。諸々の方々に心から感謝と御礼を申し上げます。



今年は、健康第一を考える万田酵素さんの万田発酵工場を見学させていただき、続いて、前夜祭には水軍太鼓の大演奏会でのお迎えを戴きました。多数の地元の参加者も加わっての和やかなときが流れ、フラダンスの飛び入りもあり、笑いのうずで夜はふけていき、前夜祭を大いに楽しく過ごしました。

さて、現地への参加者のみなさまは目が覚めると前夜の楽しみは一転、実労働が待っていました。みんな力を合わせて働きました。皆さまのお手元に届くあんせいかん（すき間には八朔を入れています。これも、皆さんで採りました）は店先に並ぶ柑橘の美しい肌とはちょっと異なるかとも思いますが、会の主旨をご理解のうえ寛容な心でお許しくださいますようお願い申し上げます。無農薬に近い、自然の恵みをいっぱい受けたあんせいかんを、（八朔も、）一つ一つ愛でて食してください。中身が美味し〜いです。皮もママレードを作ったり、乾皮にも利用できます。



地域では過疎が進み、農協も撤退、耕作者のいない畑は放棄地と化して行っています。そんな中、ひとりで頑張っている円福寺様に拍手ください。

樹も、人も年をとりました。でも何とか、来年も頑張ってみようと言うことになりました。どうぞ、来年も賛助賜りますようお願いいたします。

（申し込みは、諸々会事務局 電話03-5652-3986）

時候良き時には、因島に来て、草刈のお手伝い、瀬戸の島巡り、青井の空き家にもキャンプのつもりで、お泊りも歓迎です。その時には、因島の方の案内もして頂けることでしょう。苦しみを、楽しみに変えて出来る耕作へと、年寄りでも自分に出来ることをやりながら、そこに置かれた人間が楽しい人生であったと思えるように、青春の風、老春の風を起こしましょう。



新学期もすぐですね。今年も、柑橘いっぱい食べて、自分の身体を大切にして元気でお過ごしください。幸せ多い年となりますようにお祈りいたしております。みんなみんなありがとう。

近藤 都子

平成29年3月5日